

改訂日 2014年4月 1日

作成日 2010年6月 11日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：E-XDPキャリブレーター

キット構成：「RM78S-992L1（キャリブレーター1）」～「RM78S-992L5（キャリブレーター5）」

化学物質等の名称：アジ化ナトリウム

「RM78S-992L1（キャリブレーター1）」（含有量：0.5%）

会社名：株式会社LSIメディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

担当部署 薬事部

電話番号 03-5577-0609

FAX番号 03-5577-0659

製品コード RM78S-992LS

整理番号 1029

推奨用途及び使用上の制限

検出試薬、爆薬、エアバック用ガス発生剤、化学品原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	区分外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	タイプG
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外

健康に対する有害性	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	急性毒性（経口）	区分2
	急性毒性（経皮）	区分1
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分1C
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分1 （循環器系）
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	区分1 （循環器系・肝臓）
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報： 飲み込むと生命に危険（経口）
皮膚に接触すると生命に危険（経皮）
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
循環器系の障害
長期又は反復ばく露による循環器系、肝臓の障害

注意書き： 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
粉塵を吸入しないこと。
取扱い後は良く手を洗うこと。

【救急処置】

吸引した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

衣類にかかった場合：直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

ばく露又はその懸念がある場合；医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

2～10℃ 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物（凍結乾燥品）

一般名：医薬用外毒物

成分及び含有量

「RM78S-992L1（キャリブレーター1）」にアジ化ナトリウムを含有する。

成分（危険有害物質）：アジ化ナトリウム

含有量：「RM78S-992L1（キャリブレーター1）」0.5%

化学式：NaN₃

官報公示整理番号（化審法）：1-482

CAS No : 26628-22-8

危険有害成分：アジ化ナトリウム

労働安全衛生法：指定物質（但し、本品は1%未満濃度のため対象外）

毒物及び劇物取締法：毒物指定物質

化学物質管理促進法：第1種指定化学物質（但し、本品は1%未満濃度のため対象外）

4. 応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流す。必要があれば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：直ちに多量な清浄水で15分以上洗眼する。必要があれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：速やかに口をすすぎ、必要があれば医師の手当てを受ける。無理に吐かせないこと。

吸入した場合：新鮮な空気の所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。必要があれば医師の手当てを受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：吸入により咳、頭痛、鼻づまり、眼のかすみ、息切れ、意識喪失、心拍数低下、血圧低下。

皮膚に接触して発赤、水泡。

眼に入り発赤、痛み。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、一般の泡消火剤

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性：熱により自己分解や自然発火を起こす危険性がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：暴露防止のため保護具（手袋、マスク、保護衣、ゴーグル等）を着用して作業を行い、接触を防止する。

環境に対する注意事項：河川に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

除去方法：不燃性吸着剤で回収する。回収後、汚染された場所及びその周囲を多量の水で洗い流す。回収物は後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：飲み込んだりしない。目や皮膚に触れないよう適切な保護具を着用する。

本品は、原料としてヒト血清を使用しております。この血清は、HBs抗原、HIV抗体及びHCV抗体が陰性であることを確認していますが、ご使用の

際は患者検体を取り扱うのと同様に注意して下さい。

保管：直射日光を避け、冷蔵（2～10℃）で保存する。施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

日本産業衛生学会：設定されていない。

ACGIH：TLV-STEL 0.29mg/m³ (as sodium azide) (上限値)

0.11ppm(as hydrazoic acid vapor) (上限値)

保護具

手の保護具：保護手袋を着用すること。

目の保護具：保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

「RM78S-992L1（キャリブレーター1）」

物理的状态

形状：粉末

色：白色

臭い：ほとんどなし

pH：－

沸点：－

引火点：データなし

発火点：データなし

GHS分類

自己反応性化学品：アジド基を有するが国連分類は6.1（毒物）。

クラス4.1には分類されていない。タイプGとした。

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：加熱により溶融して300℃で分解する。

重金属との混触により発熱、発火することがある。

酸によって有毒かつ爆発性のアジ化水素酸を発生する。

危険有害な分解生成物：燃焼により水酸化ナトリウムのヒュームを発生する。

11. 有害性情報

本混合物では確認していないが、含有している成分（アジ化ナトリウム）で以下の有

害性情報が報告されている。

化学成分名：アジ化ナトリウム

急性毒性：経口 ラット LD₅₀ 45mg/kg

経口 マウス LD₅₀ 27-45mg/kg

飲み込むと生命に危険（区分2）

経皮 ウサギ LD₅₀ 45mg/kg

皮膚に接触すると生命に危険（区分1）

吸入（蒸気） ラット LC₅₀ 37mg/m³

皮膚腐蝕性・刺激性：ウサギ 0.5g 1時間では刺激を起こさなかったが、4時間で腐蝕性。6匹中3匹が死亡。

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（区分1C）

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：皮膚腐蝕性・刺激性評価結果から重篤な眼の損傷が想定される。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報なし

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：ACGIH A4 ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質。

生殖毒性：情報なし

特定標的臓器・全身毒性：ヒトについて、血圧低下（かつては治療薬として使用（単回ばく露）された）と、その呼吸器・消化器等への副作用と見られる事例があることから区分1とした。

特定標的臓器・全身毒性：ヒトで高血圧の治療に長期使用した際、一部の患者に感受性の増大が見られたこと、動物実験で10mg/kg・day以下の投与量で肝臓への影響が見られたので区分1とした。

吸引性呼吸器有害性：情報なし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：魚類（ブルーギル）の96時間LC₅₀=0.7mg/Lから区分1とした。

水中生物に非常に強い毒性（区分1）

水生環境慢性有害性：急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いと推定されるものの（log Kow≤0.3）、急速分解性がない（直接測定（HPLC）による分解度：1%）ことから、区分1とした。

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性（区分1）

13. 廃棄上の注意

残余物は、患者検体と同様な廃棄処理を行う。

使用した容器は、水で十分洗浄した後、慣例法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

注意事項：取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

消防法：適用されず

労働安全衛生法：適用されず

毒物及び劇物取締法：適用（医薬用外毒物）

化学物質管理促進法（PRTR法）：適用されず

16. その他の情報

引用文献：

1. 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
2. 毒物劇物データハンドブック 薬務広報社
3. PRTR-MSDS 対象化学物質の毒性ランクと物性情報 浦野紘平著 化学工業日報社
4. I C S C (J) (1997)
5. 危険物D B (2nd、1993)

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。